

日本防災士会 千葉北

第 31 号 2018 年 1 月 1 日発行

今号の内容

親子で学ぶ防災体験教室	1
自助の大切さを学ぶ防災訓練	2
市の総合防災訓練に協力	4
北部支部会員さん紙上インタビュー	
早川 鋭さん	6
濱本武将さん	7
会員短信 平山優子さん	8
筒井義臣さん	
北部支部の防災支援活動	9
新会員紹介	11
編集後記	11

親子で学ぶ

防災体験教室

9月24日(日)八日市場青年会議所の主催で匝瑳市野栄総合支所と野栄ふれあい公園を会場に行われ北部支部が協力しました。

「その時、命を守る」をテーマに様々な角度から命を守る方法を学びました。参加者は小学校 5、6 年生児童と親子のペアを中心に孫と祖父のペア、小学校低学年児童を含む家族など約 20 名、8 グル

ープが参加しました。親子で学ぶことにより大切な防災の知識を楽しく次世代にも継承してゆくことを狙っています。

体験教室は次のような流れで進められました。

- 「自分の命と人の命を守るために役立つスキルを身に付けることが今日の目的です」と体験教室のテーマを最初にしっかりと確認しました。話は短く問いかけを中心にして、子供たちから答えを引き出すようにしました。これは子供たちの注意力と集中力を保つために効果がありました。
- 事前に参加者に配っておいた炊飯袋ハイゼックスの説明。
- 炊飯体験のため全員が調理場に移動開始する直前、スタッフの「地震だ！」の大声で突然シェークアウト訓練に入り、全員が驚きながら様々に避難行動。笑いの中で一気に緊張がほぐれ和やかな一体感が生まれました。
- 調理室でハイゼックスにより炊飯体験。袋から空気を抜くのが難しいこと、具やトマトジュースなどを入れておいしく調理できることなどを学びました。炊飯中の待ち時間を利用して簡易ランタンの作成も体験。
- 炊き上がったご飯を昼食として試食。クラッカーや缶入りパンなど保存食も併せて

体験試食。

- 午後は胸骨圧迫、AED 操作、応急手当、三角巾作成、担架搬送などを順に学習。
- 最後に公園に移動し起震車による地震疑似体験、火災旋風実験、マグネシウムを使っての火おこし体験などを学習。

様々な学習と体験を効率良く正確なタイムスケジュールで進行できたのは青年会議所関係者の事前準備と運営がしっかりしていたためで、これにより時間的な余裕も生まれ大変楽しい学習会となりました。参加者は皆熱心で、協力スタッフを交えて今後の匝瑳市地域の防災について有意義な意見交換や対話をすることもできました。



心肺蘇生訓練



消火器放水訓練

自助の大切さを学ぶ防災訓練

10月15日（日）に船橋市立高郷小学校体育館で開催され北部支部が協力しました。主催者は船橋市三芝自治会、芝山六丁目町会、恵通苑町会、白鷺台町会、高郷町会、西習志野南町会で、約180名の参加がありました。

同六町会・自治会では今回初めての試みとして防災士会とボーイスカウトなどの民間ボランティア組織に協力を要請し防災訓練を行いました。見ているだけでなく実際に自分たちがやってみる参加型の訓練が参加者には大変新鮮であったようで、「良かった」「勉強になった」との声が多く聞かれました。主催者も「公助に頼る気持ちから自助の大切さに気づいてもらう良いきっかけになったと思います」と今回訓練の意義を評価し今後への期待を示していました。

訓練では初めに岡田和也防災士により「自宅を最上の避難所にしましょう」との視点から自助の大切さを伝える講演が行われ、参加者からは「目からうろこが落ちる思い」との共感の声が聞かれました。講師自身が阪神淡路大地震で被災した体験をもとに、自主防災とは実は「自守防災」であって頼るべきは自分自身であること、地震は止められないが備えることで災害を減らせること、三角電話で被災者の安否をより早く確認できることなどが実感をこめて話されました。続いて谷正美防災士と北部支部有志により心肺蘇生の講演と実技披露が寸劇を交えて行われ、簡潔でわかりやすい内容が好評でした。

そのあと六町会・自治会による防災品展示、ボーイスカウトによるロープワークと担架搬送訓練、北部支部による心肺蘇生訓練・応急手当訓練・三角テント張り訓練・簡易トイレ展示・新聞スリッパ作成訓練などが会場の各ブースに分かれて行われ、参加者は自由に各訓練に参加しました。ペットシートを利用した簡易トイレはその利便性に注目が集まりました。参加した住民からは防災の備えは自分でやるものであることに気づいたとの感想が聞かれ、主催者の期待に添う訓練になったと思われます。



「自宅が最上の避難所」に共感



腕を上げ血流の大切さを知る



身の回り品を使う搬送に感心



新聞スリッパは大人気

市の総合防災訓練に協力

11月5日（日）に白井市の主催で白井総合公園と市文化会館を会場に開催されました。白井市として初めての総合防災訓練で北部支部が企画段階から協力しました。

訓練は以下の5会場別に9時半から14時まで各会場同時進行で行われ参加者は約1000名を数えました。

- A会場（文化会館）：「伝説の消防士・高野甲子雄氏」の防災講演
- B会場（市消防署駐車場）：自衛隊と消防車両の搭乗体験、特殊車両展示、親子消火訓練
- C会場（総合公園円形広場）：起震車による地震体験とかまどベンチ炊き出し訓練
- D会場（総合公園芝生広場）：マンホールトイレ展示、災害時の協力団体による各種の展示、防災関連事業者の展示と販売

各会場の主な印象を紹介します。

- A会場：1982年2月（昭和57年）に起きたホテルニュージャパン火災事故で東京消防庁永田町特別救助隊隊長として活動した体験をもとに、高野甲子雄防災士が「高まる共助への期待・生死を分ける災害現場で本当に必要なものとは？」のテーマで講演を行いました。災害現場で本当に必要なものとして話されたことは①煙と炎から身を守る方法、②高所から逃げるための安全なロープの結び方、③負傷時の応急手当のやり方などで、自分の命は自分で守る自助の大切さでした。また共助については地域の中학생たちを防災アスリートとして地域防災を担う力に育てることが大切であることが強調されました。
- B会場：消防梯子車への体験搭乗、親子での消火器放水訓練、子供用消防士服を試着しての記念撮影などが行われ親子での賑やかな訓練となりました。
- C会場：起震車で多くの人たちが地震体験をしました。家具転倒防止対策の必要性を痛感して家具転倒防止対策の展示を熱心に見学する人たちもいました。
- D会場：北部支部が家具転倒防止対策の展示・説明、身近な物を使用しての応急手当、ロープワーク講習を行いました。防災講演会を聞き自分の命を守るロープの結び方を学ぶ必要性を感じてロープワーク講習を熱心に受ける人もいました。

訓練は初めにA会場で防災講演を聞いて災害現場の恐ろしさを感じた人たちが消火、脱出、応急手当、家具転倒防止などの具体的な防災対策やスキルに関心を持ち、各会場の展示を熱心に見学し訓練に参加している様子がうかがえました。このような相互に関

連性と一貫性を持たせた訓練と展示は効果的であると思われます。それぞれの訓練の意味が理解しやすくなることが期待されます。



命を守るロープ講習



地震疑似体験



「災害現場に必要なものは何か？」

♪北部支部会員さん 紙上インタビュー♪

早川 鋭（はやかわ さとし）さん



Q.出身地と自己紹介をお願いします。

A.千葉県出身です。幼少期は我孫子、学生時代は柏、今は松戸と、常磐線沿線を遡上しています。

Q.これまでのキャリア（お仕事など）を教えてください。

A.メーカー系のソリューション子会社に勤務し、システムエンジニアやソフトウェア開発などを経験してきました。現在は職場で防災、環境、社会貢献を担当しています。

Q.特技、お持ちの資格、得意分野を教えてください。

A.日本ファシリテーション協会に所属し各種ワークショップを企画したりしています。

Q.防災士になられたきっかけはなんですか？

A.昨年、会社の防災担当になったのがきっかけです。認定取得後1年近くは特に活動ができていませんでした。

Q.地域や職場で何か防災活動に取り組んでおられますか？

A.職場では防災と事業継続計画（Business Continuity Plan）を担当しています。地域での活動はこれからです。最近ようやく北部支部の活動に参加するようになったところです。

Q.2011年東日本大震災の時にはどのような体験をされましたか？

A.会社で杉山愛さんの講演を聞いていました。天井から吊られたプロジェクターの揺れに恐怖を感じました。会社から特に指示がなかったため同僚と歩いて帰宅しました。職場が湾岸地域にありましたので液状化で水が噴出している様子を見ながら歩きました。

Q.今はまっていること、熱中していること、趣味などがありましたら教えてください。

A.脱出ゲームでしょうか。もともとはチームビルディングと絡めたワークショップに参加していましたが現在は仲間と楽しむために参加したりします。

Q.北部支部の活動に期待すること、取り組んでみたいこと、ご意見などお聞かせ下さい。

A.救急救命などを手始めに講師としてやれるようになりたいと思います。

Q.将来の夢をお聞かせ下さい。

A.自分が住んでいる地域の防災リーダーのような活動がやりたいです

♪北部支部会員さん 紙上インタビュー♪

濱本 武将（はまもと たけまさ）さん



Q.出身地と自己紹介をお願いします。

A.千葉県出身です。船橋市にマンションを購入し妻と中学生の娘との3人家族です。

Q.これまでのキャリア（お仕事など）を教えてください。

A.現在千葉県立の特別支援学校市川大野高等学園に勤務しています。船橋市、富里市、松戸市の特別支援学校などで勤務してきました。

Q.特技、お持ちの資格、得意分野を教えてください。

A.小学校1種教員免許、中学校1種（社会）・高等学校専修免許（地歴・公民）、司書教諭免許、防犯指導員、中国語検定試験 HSK 1・2級、放送大学で中国語入門単位取得など。現在子どもを守る会の理事です。新聞社で通信員経験が20年あります。

Q.防災士になられたきっかけはなんですか？

A.連合自治会の研修会で知り合いの自治会長さんから「防災士の資格を取ると防災のことが全てわかる」と勧められたことです。

Q.地域や職場で何か防災活動に取り組んでおられますか？

A.自治会長として5年、小学校の避難所運営委員長をしています。船橋市の総合防災訓練の委員長です。マンションでも防災講話などを行っています。職場では総務部副部長として防災担当への助言をし防災教育・防火訓練などを行っています。

Q.2011年東日本大震災の時にはどのような体験をされましたか？

A.車で校門を出た直後に地震に遭いすぐ学校に戻って生徒を父兄に引き渡し、残った生徒を手分けして車で送り届けました。千葉大を翌日受験するという生徒を千葉駅まで送り、大渋滞の中を翌朝9時までかかり船橋に戻りました。管理組合理事長としてマンションの修繕に取り組み、市の助成金他で全額を賄うことができました。

Q.今、はまっていること、熱中していること、趣味などがありましたら教えてください。

A.防災士会の研修など様々な研修や勉強に熱中しています。放送大学でも防災講座を学んでいます。

Q.北部支部の活動に期待すること、取り組んでみたいこと、ご意見などお聞かせ下さい。

A.研修会が充実しておりぜひ継続して下さい。学校の夏、冬の休みには北部支部の活動に参加したいです。

Q.将来の夢をお聞かせ下さい。

A.防災士として生涯防災に携わり人に貢献できる自分になりたいです。

～会員短信～

★平山優子防災士が「地域で輝く女性（ひと）」として、船橋市の男女共同参画センターが発行する情報誌「f エフ」11月号に大きく紹介されました。平山さんが女性の視点での防災対策が必要であることを船橋市防災女性モニターの活動などを通して積極的に市に提言や発信を行っていることは本誌7月1日号と10月1日号で紹介しました。



平山さんは①災害時に男性と女性の役割分担を固定化して考えてしまうためお互いの理解と助け合いが損なわれ、男女双方がそれぞれ重荷を抱えて苦しんでしまうこと、②災害対策決定の場に女性の参加が少ないため男女のニーズの違いが十分理解されず災害救援現場で問題（不満）が生まれることを課題として挙げています。人間の復興には命、健康、仕事、生活の4つが必要で、これを満たすために女性や社会的弱者などの視点で多様性を尊重した災害対策が必要であると主張しています。そして私たち一人ひとりの大切な防災行動として①自分が困っている時には声を出して助けを求めること、②困っている人にはこちらから声をかけてあげることを提唱しています。

★筒井義臣防災士が11月25日（土）、習志野市大久保小学校で開催された集会でPTA役員を対象に「直下型大地震に備えて！地域防災力を高めましょう！」とのテーマで講演を行いました。講演では、災害発生直後からの約3時間を生き延びることが最も大切であることが話されました。広域災害発生時に児童を守り、学校を避難場所や避難所として運営するためにはPTAのような若い世代の住民の理解と協力が必要です。その意味で意義のある防災講演で今後も継続して開催することが望まれます。筒井防災士が事務局となって同小学校区で進めている自主防災連絡会の活動の一環です。同自主防災連絡会は東日本大地震の直後に筒井防災士などが中心になって作られ、地域の防災力の向上と防災リーダーの育成に地道に取り組んでいます。



左端が筒井防災士

～北部支部の防災支援活動(2017年9月～11月)～

北部支部は以下の防災行事に参加協力しました。

ご協力大変にありがとうございました。

- 9月2日(土) 松戸市第35回小金原地区合同自主防災会防災訓練
- 9月3日(日) 富岡エステート自主防災会防災訓練(浦安市)
- 9月3日(日) 清水口小学校区支部防災講習講演会(白井市)
- 9月9日(土) そらのいえ保育園救命講習(東京都)
- 9月10日(日) ヴィオールド戸田公園(マンション)防災訓練(埼玉県)
- 9月17日(日) インプレスト稲毛防災訓練(稲毛市)
- 9月18日(月) tvkハウジングプラザ港南台地震疑似体験(神奈川県)
- 9月23日(土) tvkハウジングプラザ瀬谷地震疑似体験(神奈川県)
- 9月23日(土) 君津市周公民館防災講演
- 9月24日(日) 匝瑳市親子防災教室
- 9月24日(日) 茂原市自主防災会救出救護訓練
- 9月24日(日) ザ・レジデンス東京イーストレジデンス消防防災訓練(東京都)
- 9月27日(水) 八千代リハビリテーション病院地震疑似体験
- 9月28日(木) 八街市中央公民館防災講演
- 9月29日(金) 印旛地区公民館連絡協議会防災講演(印旛郡栄町)
- 9月30日(土) 成田市自主防災会リーダー研修(HUG)
- 10月1日(日) 船橋市法典フェア防災講習
- 10月1日(日) 茂原市自主防災会救出救護訓練
- 10月5日(木) 八街市中央公民館HUG訓練
- 10月7日(土) 成田市田町地区防災訓練
- 10月8日(日) 木更津市企業防災DAY防災講習
- 10月9日(月) 木更津市いわねEASTふれあい祭り地震疑似体験
- 10月11日(水) 船橋市湊中学校地域合同防災訓練
- 10月12日(木) 八街市公民館防災訓練
- 10月12日(木) 睦沢町千葉県災害対策コーディネーター養成講座
- 10月14日(土) 横須賀ストリートカフェ地震疑似体験(神奈川県)
- 10月15日(日) 船橋市六町会・自治会合同防災訓練
- 10月18日(水) 佐倉市中央公民館佐倉市民カレッジ防災講演
- 10月19日(木) 睦沢町千葉県災害対策コーディネーター養成講座
- 10月24日(火) ㈱アルバック防災訓練(静岡県)

- 10月26日(木) 船橋北高等学校防災訓練
- 10月28日(土) 藤枝市藤枝小学校防災訓練(静岡県)
- 10月29日(日) 野田市里区自治会防災訓練
- 10月29日(日) 栄町地区別防災訓練
- 11月4日(土) 野田市白鷺梅郷住宅自治会防災訓練
- 11月5日(日) 白井市総合防災訓練
- 11月7日(火) 株明電舎応急救護訓練(東京都)
- 11月11日(土) 野田市消防フェア
- 11月11日(土) 成田市総合防災訓練
- 11月11日(土) 袖ヶ浦市千葉県災害対策コーディネーター養成講座
- 11月12日(日) 住友林業群馬支店地震疑似体験(群馬県)
- 11月14日(火) 船橋市三山中学校防災講習
- 11月15日(水)～17日(金) Japan Home & Building Show 2017(東京都)
- 11月17日(金) 船橋市三山中学校救命講習
- 11月18日(土) 袖ヶ浦市千葉県災害対策コーディネーター養成講座
- 11月19日(日) 白鳥学園防災体験アカデミー(茨城県)
- 11月24日(金) 睦和大学防災講義
- 11月25日(土) 袖ヶ浦市実技講習会
- 11月26日(日) 野田市東新田自治会防災訓練
- 11月30日(木) 南房総市富山小学校防災訓練
- 11月30日(木) いすみ市防災訓練(HUG)



新会員の紹介

2017年9月以降、以下の方々が北部支部の会員になりました。
北部支部の会員数は101名です（2017年12月20日現在）。

吉野崇治さん（船橋市） 小豆野伸正さん（東京都）
越川伸彦さん（山武市）

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は北部支部にとりまして大きな飛躍の1年であったと思います。BCNの起震車とも連携して年間の出動回数が大きく増加し大変に忙しい1年でした。

防災士会の本来の使命である自助、共助、公助の基本「自分の身は自分で守る」ことの啓発活動に取り組めた有意義な年でした。本年は更に、防災士会メンバーがスキルアップし、充実した活動ができ、実りある年となりますよう、私も広報グループの一員として頑張ってお参ります。（中村）

広報担当：茂木 宏 岩下裕二 飯岡 孝 中村あや子 村岡 綾

事務局の連絡先：竹内哲志 (takeuchi.srmmp@nifty.com)

広報担当の連絡先：koho.chibakita.bousaisi@gmail.com

